

体育分科会報告

会場 9階 展望ロビー
司会・進行 峯岸 昌弘
参加者数 約20人

体育分科会は2日目の午後1枠を使って行われました。提出された資料は全部で5本でした。

●佐々木邦道（千葉）

「ドル平指導を身につけることは信頼を増す1つの手段」

●広瀬真人（滋賀） 「ドル平+ヘルパーで浮く感覚を」

●峯岸昌弘（群馬） 「跳び箱運動プラン①〈開脚跳び〉」

●峯岸昌弘（群馬） 「跳び箱運動の見方・考え方」

●峯岸昌弘（群馬） 「跳び箱との付き合い方」

前半は、佐々木さんの「ドル平」の指導法に関する資料を、映像を見ながら検証していきました。映像では、実際に泳げない小学生の子に、佐々木さんが指導していく様子が撮影されていました。印象的だったのは、幽霊のように力を抜いて浮かぶ



「ゆうれい浮き」の練習と、「2回けて、1回パツ」のタイミングです。これらは、実際に映像を見ると、指導の仕方がすぐにわかりました。映像では、最初は泳げなかった子が、みるみる「ドル平」をマスターして、泳げるようになっていました。全体指導でも

できそうだと感じました。

広瀬さんは、都合により帰られてしまったのですが、昨年の体育分科会で坪郷さんが紹介していた「ヘルパーを使った指導」をドル平でも使ってみました、という紹介を資料にしてくださっていました。

後半は、峯岸が作成した新しい跳び箱運動のプラン〈開脚跳び〉を、実際に参加された方々にやらせてもらいながら検討していきました。やっているうちに、「跳び箱を跳べるかどうか」と



いう意識で練習するのではなく、「〈手のジャンプ〉が身についたかどうか」で追っていく授業の流れが、参加者はもちろん、プラン作成者自身も鮮明になっていった感じがしました。



できないと思っていたことも、思わずできてしまって歓声上がるなど、終始とてもたのしい雰囲気で行われました。特に、毎年のように体育分科会に参加してくださっている山本恵理子さん（福井）の活躍に、みなさん励まされていました。

また、〈開脚跳び〉以外にも、プランの構想を示した資料「跳び箱の見方・考え方」を中心に、〈切り返し系〉や〈回転系〉などの跳び方、〈着地〉をするときのコツなども実施しながら、今後、新しく作っていくプランの流れを検討していきました。

さらに、「跳び箱との付き合い方」という資料をもとに、「跳び箱」

や「支持跳躍運動」の歴史、跳び箱をどう考え、「跳び箱を跳ぶことの〈たのしさ〉はどのようなものなのか」という哲学的なことにまで話が広がりました。〈器械体操〉と〈器械運動〉の違いの話など、日本における体育教育の歴史にまで踏み込むなど、とても深い話にもなりました。



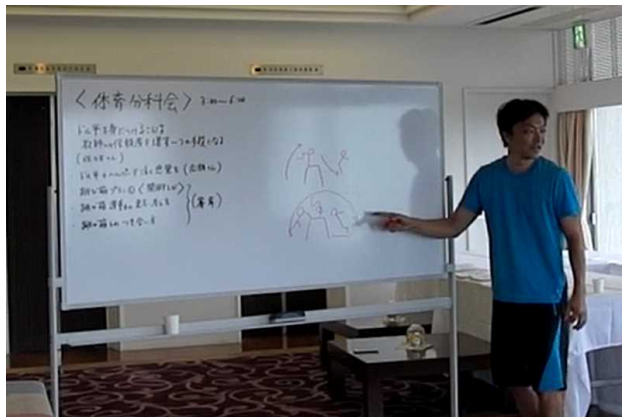
この記録は永島明さんによってVTRに収めていただいたので、興味がある方にはお譲りすることもできます。

そして、ここでの研究をもとにして、新プランの作成や改訂をすすめ、数年以内にまとめて、「たのしい器械運動への道」の第2巻として、『たのしい跳び箱運動への道』を作りたいと考えています。

と書いています。

●感想

みなさんからの感想は、書いてもらわなかったのですが、後ほど、この分科会に参加されていた中一夫さん（東京）から、以下のようなア



ドバイスをいただきました。

あの後、板倉さんのお見舞いに行ってきたんだけど、こちらの話は聞こえて頭もしっかりしているので、よく反応はしてくださいます。それで、つきそいのお姉さん相手に大会の報告や資料発表を長くして過ごして帰ってきたよ。

その時に、峯岸さんの体育の資料をだれかが持ってきてくれて、ちょうどお姉さんが読んで聞かせてあげたところだったみたいだから、板倉さんにも宣伝しておいたよ（笑）。

お姉さんと話をして思ったけど、はじめて資料を読む人には、最初の運動（腕で体を支えるなど）のハードルが高すぎて、跳び箱などへの話への障害になりそうだから、運動的には最初がやさしいのがいいのか、むずかしいのがいいのか、僕は判断に困るけど、少なくとも跳び箱との関連のまだ見えない難しい運動は抵抗が大きそう。僕らは峯岸さんの説明通りに動くからいいけど、資料だけで判断する人は、最初で読むのをやめるかもしれないから、そのへんも考えてみてくれるといいです。

板倉さんに「峯岸さんがまったく新しい視点で体育の授業書を作ってくれればいいと思います」って宣伝したから、がんばってね（笑）。



とても嬉しい評価をいただき、ありがとうございます。そして、分科会での検討や、上記のアドバイスをもとに、先に示したトレーニングは、すぐに取り組みそうなものに厳選しました。授業の中で実際に試してもらいながら、今後も使いやすいものにしていこうと考えています。参加してくださったみなさま、お世話になりました！

おしまい